

INDEX

1 FD推進センター 夏まつり!?

7月は、FD推進センターでは様々な催しものを実施しました。今回は、「FD推進センター夏まつり」と銘打って、その内容についてダイジェストでご報告します。

2 FD川柳

はじめました

「FD学生の声コンクール」の一環として、今年度より「FD川柳部門」を設けました。FD川柳は、学生だけでなく、教職員の応募も可能です。

授業をより良くしていくためのアイデアや、気づき、ほやきなど、教職員の視点からも是非作品にご応募ください。

堅苦しくないFD活動からやってみるのも、新たな気づきがあるかもしれません。

1 FD推進センター 夏まつり!?

FD推進センターでは、7月は、まるで夏まつりのように、様々な催しもの開催し、多くの先生に参加いただきました。アカデミック・サポートサービスでは、少人数で実施するミニ講座を7月7日(木)と7月11日(月)に開催しました。7月9日(土)には、「第5回新任教員FDセミナー」を、7月16日(土)には、「第15回FDワークショップ」を開催しました。また、6月より引き続き「学生による授業改善アンケート」も実施しております。今回は、「FD推進センター夏まつり」と銘打って、それぞれの内容についてダイジェストで報告します。



第5回新任教員FDセミナー (7月9日)

今年で5回目の開催となりました新任教員FDセミナーを、7月9日(土)に市ヶ谷キャンパス外濠校舎4階S407教室にて実施しました。本セミナーは、4月に本学に着任された教員を対象に、春学期の授業終了を間近に控えたこの時期に、学部・研究科の枠を超えて一同に会していただき、新たな気づきを得ていただければと企画しています。



まずはじめに、FD広報プロジェクトのリーダーである経済学部竹口圭輔教授に「FD推進センターの取り組み」をご講演いただき、引き続き、イベントテーマ「わたしの授業の工夫」のもと、文学部川崎貴子教授には「文学部生を対象とした授業の課題と工夫」を、スポーツ健康学部林園子助教には「保健体育科教員養成—教育実習経験者・未経験者における相互参加型演習の試み—」を、情報科学部廣津登志夫教授には「Webテストを活用した基礎学力の向上」についてを、お話しいただきました。その後、新任教員の方々からの質問に答えるかたちでパネルディスカッションを行い、講演内容に対する理解を深めました。学部の異なる教員の授業の工夫は、大きな刺激となったようで、ご好評をいただきました。

2016年度春学期授業改善アンケート

2016年度春学期学生による授業改善アンケートを実施中です。学内各所にアナウンス掲示を行っておりますが、回答期間は、期間外実施科目以外の科目は8月8日(月)までとなります。機会がありましたら、これからさらに受講生に、回答を促していただくようお願いします。授業改善アンケートの結果は、各授業へのフィードバックとなるのはもちろんのこと、学部の今後のカリキュラム検討や、学生の授業への満足度を測るためにも利用されます。1人でも多くの回答があることで、より具体的な教育改善へとつながりますので、どうぞご理解のうえご協力のほどよろしくお願いいたします。また、今期より、学生へコメントをフィードバックできる新機能も、導入希望学部・研究科の授業に設定済みです。ご活用ください。

アカデミック・サポートミニ講座 (7月7日・11日)

2016年度初となるアカデミック・サポートミニ講座を7月7日(木)と7月11日(月)に市ヶ谷キャンパスにて実施しました。今回は、「HOW TO GET BETTER WITH PUBLIC SPEAKING IN ENGLISH, 人前で英語を上手に話せるようになるコツ」をテーマに開催しました。

7日は、3名の先生が参加し、英語で授業を行う際に困っている点を出し合い、その後、テキストに沿ってオーソドックスな英語での授業の仕方を確認し、最後に、改めて解決したい事項を相互で問題解決しあう少人数ならではの悩み解決に特化したレッスンを行いました。

11日は、5名の先生が参加し、まずは英語で授業を行うために必須と思われる事項を銘々に挙げ意見を共有しました。その後、2チームに分かれ、実際に、模擬プレゼンテーションを行っていただきました。模擬プレゼンテーションでは、チームで決定したテーマについて、問題提起から課題解決まで一連の提案を構成し、次にその内容を効果的に伝えるための英文を作成。その後、チーム内のプレゼン順や、身振り手振りなどを工夫して、より魅力的なプレゼンテーションに仕上げていき、相互に発表を行うというものでした。初めて会った先生同士であったにもかかわらず、連携したチームプレイで、とても有意義な時間になったようでした。



2016年度初となるアカデミック・サポートミニ講座のご案内

【開催日時・場所】 2016年7月7日(木) 13:30-15:00 (3時間限) 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎5階 F505教室

2016年7月11日(月) 13:30-15:00 (3時間限) 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎5階 F505教室

【テーマ】 HOW TO GET BETTER WITH PUBLIC SPEAKING IN ENGLISH 人前で英語を上手に話せるようになるコツ

講師: アカデミック・サポートサービスFD推進センター 廣津登志夫(情報科学部) 川崎貴子(文学部) 林園子(スポーツ健康学部)

【申し込み】 申し込みは、FD推進センターのホームページから行います。申し込み締め切りは7月6日(水)18:00です。

【お問い合わせ】 FD推進センター 03-5926-1111

【申し込み】 <https://www.event-u.jp/fm/10663>

7月11日(月) ANSは、03-5926-1111から申し込みいただけます。お電話で受け付けます。

開催人数: 30名 定員: 30名

問い合わせ: 法政大学教育開発支援機構FD推進センター

〒102-8501 東京都千代田区千代田1-10-1 TEL: 03-5926-1111

発行:

法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ
<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>

問い合わせ先
fd-jimu@hosei.ac.jp

第15回FDワークショップ (7月16日)



カリキュラム・ポリシーの大学設置基準の改正により、3つのポリシーの策定と公開が義務化されますが、これに向けて本学においても、全学的に見直し作業を開始することについて、先の学部長会議で案内がありました。

この度、その3つのポリシー見直しと、カリキュラム・ポリシー見直しを今後各所属にて実施するにあたり、その第一人者の大阪大学全学教育推進機構准教授 佐藤浩章氏をお招きして、考え方や実際のカリキュラム・マップ作成をご体験いただけるワークショップを7月16日(土)に市ヶ谷キャンパス 外濠校舎薩埵ホールにて開催し、70名を超える人数の皆様にお集まりいただきました。



最初に、佐藤講師に3つのポリシーの考え方と記述方法についてご講演いただき、その後、各所属テーブルごとに実際にカリキュラム・マップ作成に取りかかりました。続いて、仕上がったマップをテーブルに置き、全員で各テーブルを周り、他所属の作成したマップに対して付箋を使ってコメントを寄せていく「ポスターセッション形式」で相互にフィードバックを行いました。

実際に、自学部・研究科の作業をしてみたからこそ、カリキュラムは異なれど他学部がマップを作成するにあたり苦労した点や、曖昧になっている点なども短時間で見い出せ、それぞれのマップに多くのコメントが寄せられていたようでした。この「客観的視点」も、体系的なカリキュラムを作成するには大切な事項であることが実際のワークからも気付くことができたように思います。今後の3つのポリシーの策定にあたって、是非、本内容がお役に立てればと思っています。



2 FD川柳 はじめました

通常のFD学生の声コンクールの作品募集とは別に、今年度より新たに「FD川柳」部門を設けました。授業をより良くしていくためのアイデアや、気づき、ほやきなどを川柳に表現して、ご応募ください。FD川柳は、学生だけでなく教職員の方もご応募いただけます。奮ってご応募ください。



通常のFD学生の声コンクールの作品も募集しています。指導学生に、是非お声掛けください！

- ・対象：本学の学生 ・応募期間：9/16～9/30
- ・「出会い」「教室」のキーワードに関する作品を募集しています。
- ・形式：自由 A4用紙1枚程度
- ・賞金：最優秀賞 5万円、優秀賞 2万円、佳作 5千円

団体や複数名での応募はできません。個人での応募のみ受け付けます。応募作品は、オリジナルで、他の川柳コンテスト等に応募されていないもの、公表されていないものに限ります。また、個人が特定されるような記載はご遠慮ください。入賞作品の著作権は、大学に帰属します。詳細はFD推進センターホームページよりご確認ください。

【応募条件】・法政大学の学生と教職員
（作品と共に、ペンネームもつけることができます）。
団体や複数名での応募はできません。個人での応募のみ受け付けます。応募作品は、オリジナルで、他の川柳コンテスト等に応募されていないもの、公表されていないものに限ります。また、個人が特定されるような記載はご遠慮ください。入賞作品の著作権は、大学に帰属します。詳細はFD推進センターホームページよりご確認ください。

【募集期間】9月16日(金) から
9月30日(金) 16時まで
【応募方法】web申込にて受付。
→QRコードをご利用ください。
一人5作品まで応募できます。



FD川柳 作品募集